

擦文

SATSUMON

—北海道川上郡標茶町二股遺跡

第3地点の住居跡と遺物—



北海道と本州
出会いから生まれた土器

平成23年2月16日(水)
～4月28日(木)

主 催：駒澤大学禅文化歴史博物館
駒澤大学考古学研究室

後 援：標茶町教育委員会 日本考古学協会
世田谷区教育委員会 駒沢史学会

開催場所：駒澤大学禅文化歴史博物館2F 企画展示室

駒澤大学禅文化歴史博物館

The Museum of Zen Culture and History, Komazawa University

〒154-8525
東京都世田谷区
駒沢 1-23-1
TEL(03)3418-9610
FAX(03)3418-9611



<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/zenbunka/>

擦文 SATSUMON

—北海道川上郡標茶町二股遺跡
第3地点の住居跡と遺物—



駒澤大学考古学研究室は平成 20、21 年度にかけて、北海道川上郡標茶町二股遺跡第 3 地点における発掘調査を標茶町教育委員会と共同で実施しました。

今回、標茶町教育委員会・駒澤大学考古学研究室のご協力のもと、本州では目にする機会の少ない、北海道の発掘資料を展示・公開いたします。



擦文式土器（高杯）



擦文式土器（深鉢）

擦文土器は、北海道の縄文土器と本州の土師器が会い生まれた、北海道と東北地方北部でしかみられない特殊な文様の土器です。

二股遺跡出土の擦文土器をご紹介します。

擦文とは？

北海道や東北地方北部の土器にみられる、粗い刷毛目の文様のことで、これは木片や木へらを用いて土器表面を平らにした際の調整痕を装飾的に用いたものとされます。



二股遺跡住居跡完掘風景



住居跡遺物分布図

発掘調査時の記録写真・実測図面などのパネル展示を行い、二股遺跡の住居跡についてご紹介いたします。

縄文土器



石器（黒曜石）



縄文土器

二股遺跡からは、擦文文化期以前の土器・石器が多く出土し、古くからこの地に人々が暮したことを物語っています。

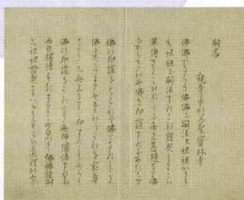
○土器の作りかた

擦文土器の製作工程のうち、ミガキ調整を体験いただけるコーナーを用意しております。

また、縄文土器に文様をつけるために用いた、縄文原体を製作するコーナーも用意しておりますので、お気軽にご参加ください。

※体験コーナーに補助員は常置いたしません。

道元禪師真筆
『正法眼蔵詞書』公開(予定)
3/25~4/8



2月							3月							4月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5							1	2
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	
27	28						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	

休館日 【開館時間】月～金 10:00～16:30 ※毎月1回土曜日開館（原則として第3土曜日）
【休館日】土・日・祝 その他大学の定める休業日 ※休館日、開館時間等は変更になる場合があります。